

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

平成20年4月23日(水)・5月13日(火) 第2406・2407回(本年度第38・39回)例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10

ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (5/13)

パスト会長スピーチ

RID2800#2AG・パスト会長 丸山 隆志君

4月15日(第2405回)例会報告

点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

卓話:「市政の基本」

鶴岡市長・鶴岡RC名誉会員 富塚 陽一氏

ビジター:金烘鐘君(鶴岡東RC)

会長報告

◆会長ショートスピーチ

本日は荘内の歴史に大きな影響を与えていた西郷隆盛の肖像画についてお話ししてみたいと思います。西郷さんは、大の写真嫌いで、生涯写真を撮らせなかったといわれています。そこで、西郷さんを偲ぶ映像と言えば肖像画ということになります。その中でも広く世の中に流布しているものに2つの肖像画があります。ひとつは西郷さん一族の方々が亡くなった西郷さんの面影を残すためにイタリア人画家エドアルド・キヨソネ氏に依頼し多くの西郷さんを知る人たちの協力を得て明治16年に完成させたものです。もう一つの肖像画は鶴岡の書家で絵ごころも待ち合わせた石川静正氏の描いた肖像画を元に専門家の手を経て完成されたものです。この石川静正氏の孫に当たる人が私の叔父の所にお嫁に来ております。

現在東京にお住いの石川 新氏(静正さんの曾孫にあたる)が最近法事のため帰郷されたのを機会にお会いして、石川家に伝わる静正氏の描いた西郷さんの肖像画にまつわるエピソードをお聞きいたしました。静正氏は20歳の多感な頃、明治8年に薩摩を訪れた8名の一派の一人として西郷さんにお会いし、非常な感銘を受けたようです。西郷さんは明治

次回の卓話 (5/20)

会員スピーチ

10年の西南戦争で亡くなられました。

亡くなられてから30年以上たったころ西郷さんの面影も少しづつ薄れてきました。そこで、なんとか西郷さんを絵にとどめてこれをかかげて祭典を行いたいとの熱い思いから静正氏が昔西郷さんにお会いした記憶をたどって苦心惨憺西郷さんの肖像画を描きあげました。新氏によれば静正氏はこの絵をもって上京し多くの西郷さんを知る方々の意見を取り入れてこれを修正し描いた絵をもって再び上京しました。この絵を画伯黒田清輝氏に供覧したところ肖像画家の佐藤 均氏を紹介されました。静正氏の絵は佐藤氏の専門的な手を加えて完成されました。専門の肖像画家の手を経たことについては静正氏は元来は書家として一家をしていましたが、絵としてはなお職業的な手を経たいという思いがあったようで、このために少なからぬ費用を費やしているようです。

このように静正氏が情熱を降りそそいで完成した絵が西郷さんを知る多くの人からの絶賛をあび西郷さんの面影を伝える肖像画として広く流布しているわけです。いまでも往診などで色々なお宅を訪れるとき同じ肖像画が古くなったままで飾ってあるのを見て、懐かしさを覚えると共に、いかに西郷さんが荘内の人々に尊敬され愛されているかを知る証しを見る思いをしばしばしております。

幹事報告

○細則9条の変更について

現行:

委員会(前文略)会員増強・退会防止委員会

この委員会は(中略)と退会防止に関する(以下略)

会長

真島吉也

会報委員会

副会長

富樫松夫

事務局

幹事

本間昭吉

青柳孝治 佐々木喆彦

鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階

TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3376

